



2020年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一  
(コード番号 3382 東証第一部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員 伊藤 順朗  
(TEL. 03-6238-3000)

### 当社子会社の業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社セブン銀行が、別添の通り、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想および配当予想を開示いたしましたのでお知らせいたします。  
なお、本件による当社の連結業績への影響は軽微です。

(添付)

別添：「業績予想および配当予想に関するお知らせ」

(2020年8月7日付の株式会社セブン銀行公表資料)

以 上



2020年8月7日

各 位

会社名 株式会社セブン銀行  
代表者名 代表取締役社長 舟竹 泰昭  
(コード番号：8410 東証第一部)  
問合せ先 専務執行役員 企画部長 河田 久尚  
(TEL：03-3211-3041)

## 業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年5月8日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の業績予想および配当予想をお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想 について

(1) 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	67,800	18,000	12,600	10.69
増減額 (B-A)	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	74,509	20,145	13,047	11.01

※前提となる為替レート：U.S.\$1=108.00円

(2) 2021年3月期通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	134,200	32,800	23,000	19.51
増減額 (B-A)	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	148,553	39,836	26,162	22.14

※前提となる為替レート：U.S.\$1=108.00円

(3) 2021年3月期第2四半期(累計)単体業績予想の修正 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	54,800	16,900	11,800	10.01
増減額 (B-A)	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	60,204	23,218	14,291	12.06

(4) 2021年3月期通期単体業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	109,800	32,400	22,400	19.00
増減額 (B-A)	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	120,275	45,013	27,675	23.42

## 2. 配当予想について

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回予想	—	5.50	—	5.50	11.00
前期実績	—	5.50	—	5.50	11.00

## 3. 業績予想および配当予想の理由

新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループにもたらす影響について未確定要素が多く、適正かつ合理的な予想の算出が困難であったため、業績予想および配当予想を未定としておりましたが、現時点の事業環境や業績動向、並びに当期末までの一定の前提条件を踏まえて算定いたしました、業績予想および配当予想を公表いたします。

現時点におきましても将来に対する不透明感は残存しており、新型コロナウイルス感染症は、足許でも感染拡大第2波への強い懸念があります。従いまして、業績予想および配当予想を策定するにあたっては、当第2四半期以降の更なる感染拡大や長期化を仮定し、それに伴う行動自粛や新しい生活様式への変化による影響が当期末まで残ることを前提条件としております。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

※本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる場合があります。

以 上